

2018年4月20日

大分県豊後高田市の住理工大分 AE が創立 20 周年

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長：松井徹）は、事務機器向け精密部品製造・販売子会社、株式会社住理工大分 AE（大分県豊後高田市、代表取締役 社長：和久伸一）が創立 20 周年を迎え、立地する豊後高田市内で記念式典を開催しましたので、お知らせいたします。



ご来賓にあいさつを述べる住理工大分 AE 社長 和久



目録を受け取る佐々木市長（左）

住理工大分 AE は 1998 年 2 月に、プリンターや複写機などの OA 機器向けの精密部品を製造する会社として、株式会社 TRI 大分 AE の社名（2015 年 10 月に現社名に変更）で大分北部中核工業団地内に設立。住友理工グループの化成品事業を担う製造拠点として、地域の皆さまに愛されながら、事業を展開してきました。

4 月 18 日（水）に同市内のホテルで開いた、創立 20 周年を祝う記念式典には、大分県や豊後高田市、お取引先、地元の皆さまと当社グループ関係者ら計約 60 名が出席。開式にあたり、住理工大分 AE 社長 和久が「皆さまのご支援・ご協力、従業員の日々の努力に支えられ、20 周年の節目を迎えることができました。『先進・創造・調和』の社是のもと、さらなる飛躍を期してチャレンジを続けてまいります」と謝意を表明。当社社長 松井が「住理工大分 AE は、先進的で高効率な生産を実現し、他拠点到マザーファクトリーとして模範を示す重要な役割を担っている。これからもこの大分の地で、地域の振興と発展に寄与していく」と述べました。

ご来賓からのご祝辞として、豊後高田市の佐々木敏夫市長から「本市で唯一の『大企業』であり、この豊後高田で成長していただいたことを大変うれしく、そして誇りに思う。今後も市の発展のため、

ご支援を心から祈念申し上げます」、大分県商工労働部 神崎忠彦部長から「大分県の県北地域でなくてはならない会社となり、まさに地域経済をけん引していただいている。今後も大分県でご活躍いただけるよう県庁としてしっかりお手伝いしていきたい」、さらに豊後高田商工会議所 野田洋二会頭から「進出以来、着実に企業規模を拡大し、地域トップクラスの企業へと成長され、この20年の地域経済への貢献度は大変大きい。総力を結集され、次の30周年を目指し、さらなる飛躍を」などとお祝いと激励の言葉をいただきました。

また、豊後高田市立図書館の図書購入費として20万円分の目録を贈呈。当社 代表取締役 取締役会長 西村義明より「この地で20周年を迎えられたのも、大分県、豊後高田市、お客様、地域の皆さまのご支援の賜物。厚く御礼申し上げます」とあいさつの後、西村の発声で乾杯し、歓談しました。

住友理工および住理工大分 AE は、人・社会・地球の安全・安心・快適に貢献する企業グループの一員として、大分・豊後高田の皆さまとともに歩みながら、さらなる発展を目指してまいります。

<住理工大分 AE の概要>

名称	: 株式会社住理工大分 AE
所在地	: 大分県豊後高田市かなえ台1番地（大分北部中核工業団地）
事業内容	: 精密機器用合成樹脂製品の製造・販売
資本金	: 450百万円（出資比率：住友理工株式会社 100%）
設立	: 1998年2月19日
代表者	: 代表取締役 社長 和久伸一 （住友理工株式会社 執行役員 エレクトロニクス事業本部長）
従業員数	: 約300人（2018年4月現在）
工場面積	: 敷地 約108,000㎡ 建屋 約39,000㎡



大分北部中核工業団地で化成品事業を展開する住理工大分 AE

以上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制震音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、エレクトロニクス、インフラ、住環境・健康介護の各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、世界中の人々に安全・安心・快適を提供する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail kouhou@jp.sumitomoriko.com <http://www.sumitomoriko.co.jp/>